

平成22年度事業評価シート(ハード事業)

NO. 95

評価2 ハード

1 事業名等(Plan 1)

事業名	城下町歴史的風致維持向上事業											
所属名	教育委員会事務局 文化財課 文化財グループ											
第七次総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	分野	4	文化	基本施策	1	郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える	施策	2	歴史・文化を活用したまちづくり
予算科目	9	4	7	文化財	費	94754	歴史的風致維持向上					事業
	9	4	8	文化財施設	費	94860	歴史的環境形成					事業
					費							事業
根拠条例・実施要綱・担当部門計画等	高山市歴史的風致維持向上計画											
事業の実施主体	○ 市		市以外→ 祭礼保存団体									
事業の実施方法	○ 直営		指定管理 業務委託 ○ 団体等補助 その他→									

2 事業の目的・概要(Plan 2)

目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

目的	誰のために(対象)	一般市民、観光客	受益者数	4,136,231 人
概要	対象をどういう状態にしたいのか(意図)	旧矢嶋邸及び高山市郷土館など、整備施設が旧城下町周遊の拠点として活用されることにより、身近に高山の歴史を感じ、歴史文化への理解を深めるとともに、地域の活性化を図る。		
概要	事業の実施手法、手順	旧矢嶋邸及び高山市郷土館(旧永田家)の現存する土蔵を中心に歴史・美術展示施設として整備する。祭礼復興事業により、祭礼を伝統的な姿に戻す。		
概要	事業始期・終期	始期: 20 年度から	終期: 24 年度まで	設定なし
概要	今年度の改善・改革ポイント	前年度の評価結果、指示事項等を踏まえ記入		

3 事業費の推移・結果(Do)

区分		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
総合計画計画額(当初)		0	0	72,000	5,000	5,000	
総合計画計画額(計画額)		451,000	505,000	72,000	5,000	5,000	
財源	事業費	367,710	89,465	610,600			
	(計画・予算・見込・決算額)	361,620	89,457				
	国庫支出金	予算額	174,552	41,458	270,966		
		決算・見込	174,552	41,458			
	県支出金	予算額					
		決算・見込					
	地方債	予算額					
		決算・見込					
	受益者負担	予算額					
		決算・見込					
繰入	予算額						
	決算・見込						
一般財源	予算額	193,158	48,007	339,634			
	決算・見込	187,068	47,999				
H17国勢調査 96,231 人 32,174 世帯		※コスト→行政活動の単位当たり経費算出、変動を経年比較により、効率性評価					
コスト指標	受益者負担率(受益者負担/事業費) 単位 %	-	-				
	市民1人当たりコスト(事業費/H17人口) 単位 円/人	3,758	930				
	1世帯当たりコスト(事業費/H17世帯) 単位 円/世帯	11,240	2,780				
	受益者1人当たりコスト(事業費/指標) 単位 円/人	87	22				
	↓ その他(空欄にコスト指標名記入、事業費をベースとして単位当たりコストを算出) 単位 円/人						

(成果面)

活動・成果指標	活動指標(投入した行政資源を使い、どんな活動を行ったか、どのようなサービスを市民に提供したかを表す指標)	指標名	整備件数	資料・出展算出式	整備件数	単位	件
	活動	目標値	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	実績値	2	1	1			
	達成率	-	-	0	0		
成果指標(活動やサービスを行った結果、市民にどのような影響(効果)をどれだけ与えたかを表す指標)	成果指標	指標名	整備率	資料・出展算出式	累積整備件数 / 整備予定件数	単位	%
	成果	目標値	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	実績値	29	43	71	86	100	
	達成率	-	-	0.0	0.0	0.0	

3 事業費の推移・結果(Do)

前年度までの実績(累計)	対象・手段	旧矢嶋邸跡地等整備 ・土地取得 ・設計 ・既存建物解体 ・既存建物修理 祭礼復興事業 ・山王祭祭礼衣装整備 吉島家、松本家取得	451,077 千円 (内容) (矢嶋) 365,985 千円 (祭礼) 5,000 千円 その他 80,092 千円
	事業費	610,600 千円 (内容) (矢嶋) 570,600 千円 (祭礼) 5,000 千円 その他 0 千円	0 千円
	受益者負担	0 千円 (内容)	

(成果面)

進捗評価	項目	評価内容(算定式)	進捗率
	本年度	整備見込 2 / 整備目標 2 単位 件 決算見込 / 予算額 610,600 単位 千円	100.00
	本年度までの累計	整備累計 3.00 / 全体計画 7.00 単位 件 累計 1,061,677 / 全計画額 1,038,000 単位 千円	42.9
事業の進捗率の考え方	整備施設、祭礼復興団体の数		
進捗結果・理由	本年までに吉島家及び松本家の取得、山王祭の祭礼衣装整備を計画通り実施した。本年度は旧矢嶋邸跡地の整備と八幡祭の祭礼衣装整備を実施予定。		
該当項目に「○」表示	○ 計画どおり □ 未達成		

4 分析・評価(Check)

①事業の目的評価(事業の目的・概要に対する妥当性から事業の必要性を評価)	判定理由	判定	目的評価	
(現状及び判定理由)	現郷土館の拡充の面、近隣の景観の面、地域活性化の面等から、一般市民、観光客からのニーズも高い。	A:非常に高い B:高い C:低い D:非常に低い	A	
②コスト面評価(事業の推移、コスト指標の結果からコスト面を評価)	項目	②コスト面		
(判定理由)	該当項目「1」入力(注 平成20年度から平成22年度第一四半期までの推移から判断)	増加	維持	減少
	受益者一人当たりのコストは少ない。		○	
③成果面評価(活動指標・成果指標から成果面を評価)	項目	③成果面		
(判定理由)	該当項目「1」入力(注 平成20年度から平成22年度第一四半期までの推移から判断)	拡大	維持	減少
	祭礼復興事業により、途絶えていた「神楽舞」の復活に向けての取り組みがなされた。			
		コスト・成果ポジション		
		B 第2水準		

目的評価「A・B」かつコスト・成果「第1水準」	→ I 「良い」	良好な水準を維持
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第2水準」	→ II 「やや良い」	「I」の水準に向けた改善が必要
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第3水準」	→ III 「普通」	「II」の水準に向けた改善が必要
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第4水準」	→ IV 「やや良くない」	「III」の水準に向けた改善が必要
目的評価「C・D」もしくはコスト・成果「第5水準」	→ V 「良くない」	「IV」の水準に向けた改善もしくは事業の休止、廃止などの検討が必要

5 今後の方向性(Action)

評価結果に対する改善提案(下記チェック)	計画どおり	改善・継続	終期設定	休止	廃止	完了
活動の方針	祭礼復興事業の内容について、保存会と協議を早期に進める必要がある。					
次年度実施方針	祭礼復興事業を継続して実施する。					
総合評価	コスト	成果	評価区分			
	高	高	III	「II」以上の水準に向けた改善が必要		
	旧矢嶋邸の整備については計画通り開館できるよう事業を進める必要がある。また、祭礼復興事業については、「神楽舞」の復活に見られるように地元の方々の協力が不可欠であるため、今後も保存会などと連携した取組みが必要である。					